

令和4年度山城地方 「子どもと本をつなぐ」地域連携会議

～社会総がかりでつながり広げよう読書活動推進の輪～

読書が大好きな子どもを育て、生涯にわたる読書習慣を身につけるために、学校、家庭、地域、公立図書館等がそれぞれの立場でできることを考え、実践交流することを通して、地域が一体となって幼児・児童・生徒の読書の質と意欲を高める読書活動の推進を目的に開催しました。

令和4年11月4日（金）
午後2時30分～同4時30分
京都府田辺総合庁舎 講堂（保健所棟2階）
読書ボランティア等 約40名が参加！



開会行事

京都府山城教育局 局長 仲井 宣夫



実践報告Ⅰ「生徒相互の読書活動について」

城陽市立城陽中学校 教諭 吉松 佑哉

実践報告Ⅰ 【参加者の感想】

- 図書委員会の活動が非常に活発で驚きました。生徒たちが中心になって活動している点がよいと思いました。
- 実践から多くのことを学ぶことができ、参考にしたいと思いました。
- 生徒たちが動画を作って読書の楽しさを伝えている姿、生き生きした姿に感動しました。
- 生徒中心の委員会活動やビブリオバトルなどの授業での活動など具体的な報告は大変参考になりました。
- 積極的な様々なアプローチが読書意欲につながるがよくわかりました。



実践報告Ⅱ「地域の図書館が子どもたち出来ること」

宇治市立西宇治図書館 館長 嶋田 ゆみ
主任 仁木 智博



課題提起

社会教育主事兼指導主事 金岩 浩子

実践報告Ⅱ 【参加者の感想】

- 利用者の視点に立った書架の整理や見直しは大切だと感じました。
- コロナ禍での工夫された取組は素晴らしいと思いました。地域の図書館の大切さやあるべき姿を感じました。
- 本を通しての「心の丈夫な」「心の優しい」という言葉がとても素敵でした。
- 公立図書館での多くの取組のおかげで、子どもたちが読書に興味を持つことができると感じました。
- 子どもたちが大きくなっても「図書館を味方に」という考え方がとても勉強になりました。



閉会行事

山城地方子どもの読書活動推進協議会
会長 平井 むつみ



令和4年度「本とおともだちカードコンテスト」「本のポップカードコンテスト」優秀賞受賞作品展示を行いました。